

## 1. サービス概要

オブジェクトストレージサービス(以下、本サービス)は、柔軟に容量拡張可能なスケーラビリティと高い耐障害性に加え、リーズナブルな価格で利用できるクラウドストレージサービスです。

画像やドキュメント、動画データなど、あらゆる形式のファイルを保存することができ、保存データは複数のノードに自動的に冗長化保管されます。また、Amazon S3 API と高い互換性をもつ API により、対応する外部クライアントアプリケーションからの利用も容易に可能です。さらにクラウドサービスをはじめデータセンター内のお客様ラックやオンプレミスのお客様環境とセキュアなプライベートネットワーク接続経由で利用することができます。

- 複数ノードへの自動冗長保管による高いデータ堅牢性
- 外部アプリケーション活用が可能な互換性の高い API と公式 SDK の提供
- プライベートネットワーク接続経由でセキュアなデータ転送が可能

※ 本サービスのご利用にあたっては、IDCF クラウドサービスのアカウント登録が必要となります。

## 2. サービス提供内容

### 2.1 サービスメニュー

本サービスには、以下のサービスメニューがあります。

タイプ	内容	ご契約単位
基本サービス	オブジェクトストレージサービスを提供します。保存されたデータは自動的に異なるノードに3重コピーされます。	アカウント <sup>*1</sup>

\*1: IDCフロンティアクラウドサービスのアカウントと同一です。

### 2.2 基本サービス仕様

本サービスの基本仕様は以下のとおりです。

項目	内容
最低利用容量	なし
最大利用容量	なし
利用可能 API	REST API (http/https)
データ格納拠点	EAST リージョン
データの冗長性	3重のコピー
データの堅牢性	99.999999999%(11 ナイン)
データの可用性	99.99%
サービス保証 (SLA)	月間平均稼働率 99.9%

### 基本概念、用語等

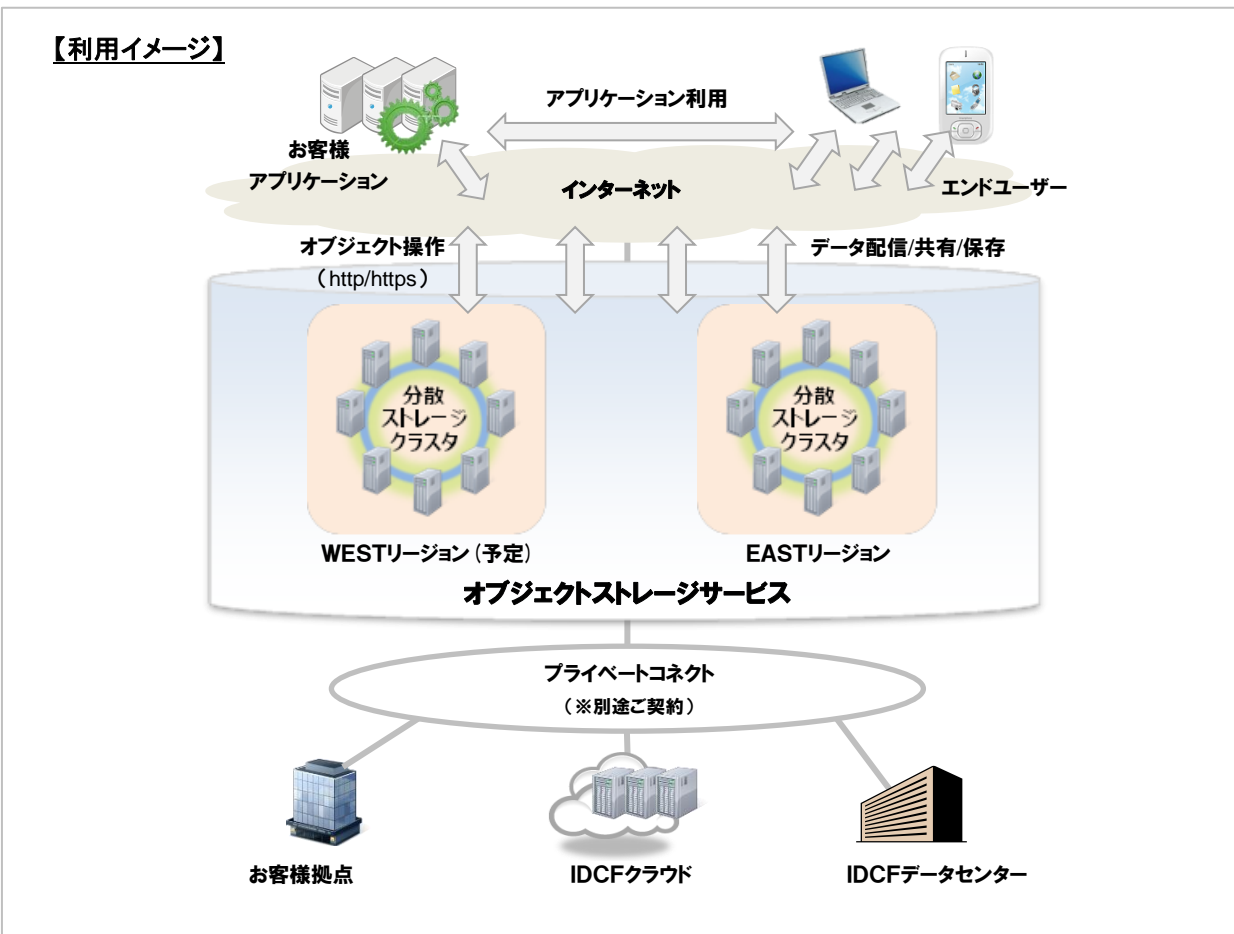
(1) 本サービスは、お客様アプリケーションプログラム(クライアント)から、インターネット経由で REST API によりストレージ上の各種オブジェクト操作を実行する形態の利用方法を前提としています。拡張性と低コストを特長としており、大量かつ低頻度なデータ保管等に適しています。想定されるユースケースとしては、以下のような例があげられます。

アーカイブ、バックアップ  
コンテンツ保管・共有・配信

※一般に本サービスのようなオブジェクトストレージは、データベース等のデータ更新頻度の高い用途には適していません。

(2) ストレージ領域は、「バケット」、「オブジェクト」の概念をもち、契約や操作の範囲・対象として扱われます。それぞれの用語の説明については、下表を参照してください。

項目	説明
API ユーザー	「API ユーザー」は、オブジェクトストレージに対して REST API の実行権限を持つユーザーです。
アクセスキー	「アクセスキー」は、オブジェクトストレージ領域内でお客様を識別するためのキーとなります。
シークレットキー	「シークレットキー」は、API アクセスの際に認証情報として利用する文字列です。
バケット	「バケット」は、お客様が作成できる論理的な上位領域です。バケットは単一のルートディレクトリを持ち、配下に任意のオブジェクトを配置します。
オブジェクト	「オブジェクト」は、バケット内に格納されるディレクトリ、ファイルを指します。



## 2.3 ストレージ領域

本サービスでは、容量を柔軟に拡張可能なストレージ領域を提供します。ストレージ領域に関する主な仕様は以下の通りです。

### バケット、オブジェクトに関する仕様

項目		説明・提供条件
API ユーザー		<ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクトストレージに対して、REST API の実行権限を持つユーザーとなります。</li> <li>アクセスキーを識別するための API ユーザー名(ニックネーム)を指定します。</li> </ul>
アクセスキー		<ul style="list-style-type: none"> <li>API ユーザー毎に 1 つのアクセスキーを発行します。</li> <li>1 アカウント毎に標準では各リージョンにつき <u>10 個</u>まで作成可能です。(※ご要望に応じて、個別対応にて 10 個以上作成することも可能です。)</li> </ul>
シークレットキー		<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスキーとペアで1つ発行します。</li> </ul>
バケット	バケット数	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスキーあたり 1000 バケット</li> </ul>
	バケット名 <sup>*1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バケット名は、3～63 文字以内の英数字にする必要があります。</li> <li>バケット名は、1 つの文字列群か、または複数の文字列群をピリオド(.)でつなげて構成します。例) idcf.data ※各文字列群には次の規則が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>先頭の文字には小文字の英文字または数字を使う</li> <li>末尾の文字には小文字の英文字または数字を使う</li> <li>小文字の英文字、数字、およびハイフン(-)を含めることができる</li> </ul> </li> <li>バケット名は、IP アドレスの形式(192.168.5.4 など)にはできない</li> </ul>
オブジェクト	オブジェクト数	<ul style="list-style-type: none"> <li>無制限</li> </ul>
	オブジェクトサイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>5TB 上限<sup>*2</sup></li> </ul>
	オブジェクト名	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大 255Bytes</li> <li>"/"は末尾に使用できません。</li> </ul>

\*1: バケット名は、オブジェクトストレージ全体でユニークなものである必要があります。既に使用中のバケット名と同じ名前のバケットは作成できません。また、一度作成されたバケット名を変更することはできません。

\*2: 5GB を超えるオブジェクトをアップロードする場合は、マルチパートアップロード機能をご利用ください。

### ストレージ利用容量の算出方法

アカウント毎にすべてのアクセスキーのバケットに保存されたオブジェクトの月間平均使用容量 (GB) を算出し、ストレージ利用容量とします。

- (1) 各バケットの使用量を当社所定の管理システムにより測定 (バイト単位)
- (2) (1) で測定した使用量の 1 ヶ月の使用可能期間 <sup>\*1</sup> における合計を測定回数で除し、各バケットの平均使用量を算出 (ギガバイト単位、小数点以下切り上げ)
- (3) (2) で測定した各バケットの平均使用量をアカウント単位に合算して、月間平均使用量を算出 (ギガバイト単位、小数点以下切り上げ)

\*1: 1 ヶ月の使用可能期間とは、当該利用期間 (暦月) における 1 日から月末までをいいます。

## 2.4 ネットワーク接続

本サービスには、大容量バックボーンネットワークに直結したインターネット接続環境が含まれます。月間のデータ転送量に応じた従量制の課金となります。なお、課金対象は、OUT トラフィック<sup>\*1</sup>のみとなり、IN トラフィック<sup>\*1</sup>は課金対象外となります。また、本サービスから IDC フロンティアのクラウドサービスおよびデータセンターサービスへの OUT トラフィックも課金対象外となります。

\*1: 本サービスにアップロードされるデータを IN、本サービスからダウンロード(配信)されるデータを OUT とします。

### ネットワーク転送量の算出方法

各バケット単位に月間を通じて転送された総データ量を IN/OUT それぞれについて集計します。各バケット単位で集計したデータ量をアカウント毎に合算して、月間ネットワーク転送量とします。

- (1) 各バケットのデータ転送量を IN/OUT それぞれについて、1 カ月の使用可能期間<sup>\*1</sup>を通じて集計(バイト単位)
- (2) (1)で取得した各バケットのデータ転送量を IN/OUT それぞれについて、アカウント単位で合算(ギガバイト単位、少数点以下切り上げ)

\*1: 1カ月の使用可能期間とは、当該利用期間(暦月)における1日から月末までをいいます。

## 2.5 プライベートネットワーク接続

「プライベートコネクトサービス」を別途ご契約<sup>\*1\*2</sup>いただくことによって、IDC フロンティアのクラウドサービスおよびデータセンターサービス、またはお客様拠点との間でインターネットを介さず<sup>\*3</sup>に本サービスを利用することができます。

\*1: 別途、プライベートコネクト費用がかかります。

\*2: プライベートコネクト経由でのネットワーク転送量は課金対象外となります。

\*3: 当社データセンター間バックボーンネットワークまたは外部キャリア閉域網経由。

### 主な提供条件

項目	説明・提供条件	
プライベートコネクトサービス	L3 接続 タイプ 3(※既にプライベートコネクトをご利用中の場合でも、別途、L3 接続タイプ 3 の追加お申し込みが必要となります。)	
接続対象	IDCF クラウド	IDCF クラウド、マネージドタイプ
	IDCF データセンター	有明 1/新宿/日本橋/吹田/北九州/白河
	お客様拠点(他社 DC 含む)	相互接続点は、有明 1/白河/北九州となります。
帯域品目	1Gbps 共有	
プライベート IP アドレスの使用	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライベートコネクト経由用の専用エンドポイントを使用します。</li><li>・お客様指定のプライベート IP アドレスを使用した通信が可能です。(※ただし、お客様側でローカル DNS が必要になります。)</li><li>・ https アクセスはご利用になれません。</li></ul>	

## 2.6 API

本サービスでは、REST API (Amazon S3 API 互換) を通じてバケットやオブジェクトに対する各種操作を行うことができます。API に関する主な仕様は下表のとおりです。

### API 一覧

分類	機能	説明
サービス操作系	Get Service	所有するすべてのバケット情報のリストを取得
バケット操作系	Get Bucket	指定されたバケット内のオブジェクト情報のリストを取得
	Get Bucket ACL	指定したバケットのアクセス権情報を取得
	Get Bucket policy	指定したバケットのポリシーを取得
	Put Bucket	バケットの作成
	Put Bucket ACL	指定したバケットのアクセス権情報を設定
	Put Bucket policy	指定したバケットのポリシーを設定
	Delete Bucket	バケットの削除
	Delete Bucket policy	指定したバケットのポリシーを削除
オブジェクト操作系	Head Object	指定したオブジェクトのヘッダー情報を取得
	Get Object	指定したオブジェクトを取得
	Get Object ACL	指定したオブジェクトのアクセス権限情報を取得
	Put Object	バケット内にオブジェクトを作成(アップロード含む)
	Put Object (Copy)	指定したオブジェクトをコピー
	Put Object ACL	指定したオブジェクトに対して、アクセス権限を設定
	Delete Object	指定したオブジェクトを削除
	Delete Multiple Objects	複数のオブジェクトを一括削除
マルチパートアップロード	Initiate Multipart Upload	マルチパートアップロードを開始し、アップロード ID を返答
	Upload Part	マルチパートアップロードのパートをアップロード
	Complete Multipart Upload	マルチパートアップロードを完了し、パートを組み立て
	Abort Multipart Upload	マルチパートアップロードの中止
	List Parts	指定したマルチパートアップロードのパートをリスト
	List Multipart Uploads	未完了または中止されたマルチパートアップロードのリスト
SDK	Java	SDK およびドキュメント

## 2.7 Web 管理画面(コントロールパネル)

本サービスでは、Web 管理画面(コントロールパネル)では以下の機能を提供します。

### 提供機能

項目	説明・提供条件
API ユーザー管理	API ユーザーの作成 <sup>*1</sup> /変更/一時停止および一時停止の解除 <sup>*2</sup> 、アクセスキーおよびシークレットキーの発行/閲覧、シークレットキーのリセット(再発行)
オブジェクト管理 <sup>*4</sup>	バケットの作成/削除、バケット一覧の閲覧、オブジェクトのアップロード/ダウンロード/削除、オブジェクト一覧の閲覧、ACL 変更、HTTP ヘッダー編集
利用状況	API ユーザー毎のストレージ使用量 <sup>*3</sup> 、全 API ユーザーのストレージ使用量合計およびオブジェクト数
サポート	ヘルプ、SDK、API リファレンス

\*1: 1 アカウントにつき標準でリージョンあたり 10 個まで作成することが可能です。11 個以上必要な場合は個別対応となります。

\*2: API ユーザーの削除はできませんのでご注意ください。

\*3: コントロールパネルに表示されるストレージ使用量は、月額算出根拠となる月間平均使用容量とは異なります。

\*4: オブジェクト管理機能は、IDCF クラウドのコントロールパネルのみ利用可能です。

### クラウドサービスのユーザー権限について

API ユーザー管理は、クラウドサービスのマスターユーザー権限でのみ可能です。パワーユーザー権限およびユーザー権限は、各種 API ユーザー管理の機能をご利用になれません<sup>\*1</sup>。

\*1: バケットへのアクセスを制限するものではありません。

## 2.8 カスタマーサポート

本サービスのサポート窓口は以下のとおりです。

対応内容		受付時間	対応時間
サービス問い合わせ <sup>*1</sup>	電話	-	-
	メール	-	-
	オンラインサポート	24 時間 365 日	平日 9:00-17:00
障害連絡受付・対応 <sup>*2</sup>	電話	-	-
	メール	-	-
	オンラインサポート	24 時間 365 日	24 時間 365 日 <sup>*3</sup>

\*1: サービス問い合わせに関しましては、土日・祝日、当社所定の休業日を除きます。

\*2: 当社が障害を検知した場合は、指定された連絡先にメール、電話、当社所定のポータルサイトのいずれかで通知を行います。

\*3: 当社がお客様に影響を及ぼさない事象と判断した場合を除きます。

## 3. サービスご利用条件

### 3.1 ご利用条件

- 「クラウドサービスに関する契約約款」にご同意いただくこと。

### 3.2 ご利用上の制限および注意事項

「クラウドサービスに関する契約約款」に定めるほか、本サービスに関して、以下の制限事項および注意事項があります。

- お客様は、本サービスが本質的に情報の喪失、改変、破壊等の危険が内在するサービスであることを理解したうえで、すべてのお客様データをお客様自らの責任において利用、保管管理するものとします。
- お客様は、当社が本サービスにおけるデータの完全性について何ら保証しないことを了承するものとします。
- お客様は本サービスを利用するために必要なアカウントキーおよびシークレットキーについて、お客様の責任において管理するものとし、当社の責に帰すべき事由による場合を除き、当該アクセスキーおよびシークレットキーが不正に利用され、当社、または第三者が損害を被った場合は、お客様がその責を負うものとします。また、当該アクセスキーおよびシークレットキーが漏えいしたことが発覚した場合には、お客様はその旨を直ちに当社に通知するものとします。
- お客様は本サービスの利用に必要な端末機器等のハードウェア、OS、アプリケーション、インターネット接続回線等について、自らの責任と費用において準備するものとします。お客様の OS、アプリケーション等の不具合や脆弱性について、当社は一切の責任を負いません。
- サービス契約約款および諸規定に基づいて、本サービスの利用契約が解約された場合、当社は当該契約（アクセスキー）およびこれに含まれる蓄積データをお客様の承諾なく削除できるものとします。
- 本サービスの設備等のメンテナンス実施により、一時的にサービスを停止する場合があります。サービス停止を伴うメンテナンス実施が必要となった場合は、作業実施の 2 週間前までに当社より事前に通知致します。ただし、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。
- お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事象のセビリティ(深刻度)等に応じて異なる場合があります。また、当社は当該事象の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行いますが、あらかじめ特定の時間内に完了することを保証するものではありません。

### 3.3 契約期間・最低利用期間

- 本サービスの利用契約は、期限の定めはなく、3.5 解約に従って本サービスの利用契約を終了させることができます。
- 本サービスについて最低利用期間はありません。

### 3.4 料金および支払方法

- 本サービスに係るサービス料金は、別途料金表に定めるとおりとします。
- ストレージ利用料は、従量制料金と固定制料金（基本料＋加算料）があります。従量制料金および固定制料金の加算料の算出方法については、「2.3 ストレージ領域」の「ストレージ利用容量の算出方法」の(3)で算出した月間平均使用容量に、ストレージ利用容量の GB 単価<sup>\*2</sup>を乗じて得られる額（円未満切り捨て）とします。
- データ転送料の算出方法は、「2.4 ネットワーク接続」の「ネットワーク転送量の算出方法」の(2)で算出したデータ転送料（OUT）から IDC フロンティアサービス間の通信に係るデータ転送料分を引いた値に、ネットワーク転送量の GB 単価<sup>\*2</sup>を乗じて得られる額（円未満切り捨て）とします。
- 本サービスにかかる料金支払方法は、クラウドポータルアカウント作成時にご登録いただいた方法に従います<sup>\*3</sup>。

\*1: キャンペーン等の実施に際して、個別の料金プランを定める場合があります。

\*2: GB 単価は、お申し込み時の画面および当社ホームページに掲載します。

### 3.5 解約

- 本サービスのみの利用契約を単体で解約することはできません。本サービスの利用契約を終了したいときは、会員契約の解約（アカウントの廃止）と同時に解約することによって本サービスの利用契約を終了できます。
- 上記の本サービスの利用契約の解約は、「クラウドサービスに関する契約約款」の「クラウドサービスに関する会員規程」第 16 条に記載の方法により解約できます。
- なお、お客様が本サービスに保存・蓄積しているデータをすべて削除いただくことにより課金が停止しますので、この場合において、会員契約を終了せずに（アカウント廃止をせずに）、本サービスの利用契約が終了したのと同じ状態にすることができます。

### 3.6 サービス品質保証制度(SLA)

#### 3.6.1 品質目標

本サービスについて、サービス品質目標（SLO）を以下のとおり定め、当社は、商業的に合理的な努力をします。

データの堅牢性	99.999999999%（11 ナイン）
データの可用性	99.99%

#### 3.6.2 品質保証の対象

本サービスについて、サービス品質保証（SLA）を以下のとおり定め、保証します。

- サービスの可用性

#### 3.6.3 「サービスの可用性」に関する品質保証

本 SLA は、1ヵ月の使用可能期間<sup>\*1</sup>において、本サービスが正常に利用できる時間割合を 100%とし、月間平均エラー率<sup>\*2</sup>を差し引いて得られる月間平均稼働率<sup>\*3</sup>が 99.9%以上であることを保証します。

月間平均稼働率	99.9 %
---------	--------

※1:1ヵ月の使用可能期間とは、当該利用期間における1日から月末までをいいます。

※2:月間平均エラー率とは、1ヵ月の使用可能期間における5分毎のエラー率<sup>※4</sup>を合計し、1ヵ月の使用可能期間における5分単位の時間総数<sup>※5</sup>で除した値を月間平均エラー率といいます。

$$\text{月間平均エラー率} = \frac{\text{1ヵ月の使用可能期間における5分毎のエラー率の合計値}}{\text{1ヵ月の使用可能期間における5分単位の時間総数}}$$

※3:月間平均稼働率とは、以下の計算式に基づき算定される割合をいいます。

$$\text{月間平均稼働率(\%)} = 100\% - (\text{月間平均エラー率} \times 100)$$

※4:5分毎のエラー率とは、5分毎に、総エラーリクエスト<sup>※6</sup>数を、5分毎の総リクエスト数で除した値(値は0から1の間をとり、リクエストがない場合は0)をいいます。

$$\text{5分毎のエラー率} = \frac{\text{5分毎の総エラーリクエスト数}}{\text{5分毎の総リクエスト数}}$$

※5:ここに5分単位の時間総数とは、1ヵ月の時間を5分単位で割った総数をいいます。30日の月の場合、30日×24時間×60分÷5分=8,640となり、31日の月の場合は31日×24時間×60分÷5分=8,928となります。

※6:エラーリクエストとは、内部エラー(HTTP Status 500)を指します。ただし、例外事項<sup>※7</sup>に基づく場合については、エラーリクエストに含めないものとします。

※7:例外事項とは、以下の各号のいずれかを指します。

- ①計画メンテナンス(当社が5営業日前までに事前通知を行った上で実施されるもの)の場合
- ②ネットワーク上の経路不達の場合
- ③お客様および認定利用者の行為に起因して、またはその責めに帰すべき事由によりエラーが生じている場合
- ④上記の他、当社の責めに帰すべき事由によらずしてエラーが生じている場合

### 3.6.4 減額基準

上記の品質保証を満たさなかった場合、月間平均稼働率の以下の範囲に応じて、ストレージ使用料の減額を行います。

月間平均稼働率	99.0%以上 99.9%未満	ストレージ使用料(ストレージ使用容量にかかる月額従量費用)の10%
	99.0%未満	ストレージ使用料(ストレージ使用容量にかかる月額従量費用)の25%

※ 減額対象は、当該の使用可能期間におけるストレージ使用料のみとします。ネットワーク転送量、その他の費用については、いかなる場合も減額対象とはしません。

### 3.6.5 減額方法

お客様は減額申請を希望される場合には、該当するトラブルチケット番号に基づいて当社所定の申請書およびお客様にて取得された当該エラーログを当社に提出いただく必要があります。当社は申請内容を確認し、申告内容について適当と認めた場合には、原則として減額対象となった月の翌月分のお客様に対して請求する月額費用から減額を実施いたします。ただし、障害発生の時期や契約状況によっては翌月以降に実施される場合があります。

減額申請の提出期限は、その事由が生じた日から14日以内に行っていただく必要があります。期間内にお客様から当社所定の申請書および当該エラーログの提出がない限り、減額を行うことはありません。

## 3.7 免責事項

「クラウドサービスに関する契約約款」に定めるほか、本サービスに関して、以下の免責事項があります。

- 当社は、当社に故意または重過失がある場合を除いて、原因当事者の誰彼なしに、お客様データの消失、紛失、遅延等により発生した損害につき一切責任を負わないものとします。
- 当社は、本サービスについて、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定目的への適合性、有用性(有益性)、継続性、権原および第三者の権利の非侵害性ならびにお客様データの完全性について一切保証しません。
- 当社は、本サービスの利用によって生じたお客様または第三者の損害に対して、いかなる責任も負わないものとします。



### 3.8 その他

本サービス仕様書の記載事項及び本サービス仕様書に記載がない事項については、サービス約款及びサービス申込画面記載の各条項及び各規定が優先的に適用されます。